

政策シート

政策名

03 自由な選択の実行が保障されたユニバーサル社会の実現

予算費目名

01 UD・男女共同参画費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野

07 地方自治・都市経営

理想の姿 (30年後)	◆協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した 基礎自治体になっている。
政策の柱 (10年後)	◆協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されてい る。 ◆公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

基本政策

02 だれもがいきいきと暮らせる市民主体の地域社会の実現

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

年齢、性別、能力、国籍などの違いに関わらず、市民一人ひとりが社会の担い手として自立し、相互に尊重しつ
つ支え合いながら自由に社会参加することができるように、多様性の理解や環境整備を進め、誰もが安心して快
適に暮らすことができるユニバーサル社会の実現を目指します。

(3) 関連するSDGsのゴール

		③保健	④教育	⑤ジェンダー				
--	--	-----	-----	--------	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	10,108	13,487	6,922	7,005	9,091	9,457
決算	9,000	12,227	4,602	5,724	7,629	
人件費(報酬等)(A)	114	114	149	103	113	165
人件費(人工分)(B)	37,900	44,200	40,600	36,480	33,120	32,000
年間経費(予算又は決算+A+B)	47,014	56,541	45,351	42,307	40,862	41,622

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
ユニバーサルデザインによるまちづくりに対す る市民満足度	%	目標	17	17	18	18	19	19
		実績	16.7	20.1	21.3	20.3	18	
ユニバーサルデザインの理解度	%	目標	43	47	47	48	48	49
		実績	46.1	39.4	40.3	39.8	36.1	
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)政策評価

(1) 前年度(2023年度)実施内容

年齢、性別、能力、国籍などの違いに関わらず、市民一人ひとりが社会の担い手として自立し、相互に尊重しつ
つ支え合いながら自由に社会参加することができるように、多様性の理解や環境整備を進め、誰もが安心して快
適に暮らすことができるユニバーサル社会の実現を目指す。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
・第3次浜松市UD計画・第1期推進計画(2022-2026)に基づき各分野の事業の進捗管理を行った。 ・2023年度の「UDによるまちづくりに対する市民満足度」は、前年度から2.3ポイント低下し18.0%となり目標値 (19%)の達成に至らなかった。 ・UDの理解度は36.1%で目標値(48%)を下回ったものの、多様性と向き合うための心のUDの醸成及びUD推進 を担う人材育成のための取組を着実にを行った。 ・ユニバーサルデザインの理解浸透を図るため、今後はより一層のユニバーサルデザインの認知と理解を深め、 関心を広めていく取組が必要である。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	ユニバーサルデザイン推進事業	○	○		24,790	3,545	2.2		1.0	1.1	165
2	UD・男女共同参画デジタル運営経費	—	○		8,396	5,036	0.4			0.2	
3	UD・男女共同参画運営経費 (一般諸経費のみ)	—	—		8,436	876	0.8			0.7	
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					41,622	9,457	3.4		1.0	2.0	165

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート

(事業名) 01 ユニバーサルデザイン推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

すべての人が暮らしやすいまちを築くため、様々な特性や習慣の違いなど多様性の理解を進め、一人ひとりが思いやりの心をもって主体的に行動できるよう、市民、事業者及び市の協働によりユニバーサルデザインによるまちづくりを推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2000		一般会計	自治事務(その他)	浜松市ユニバーサルデザイン条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	☐	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	☐	(施策)	Ⅲ-3(1)イ					

(4) 関連するSDGsのゴール

		③保健	④教育	⑤ジェンダー				
事業とゴールの関連性	すべての人が暮らしやすいよう、まちづくりやものづくり、環境づくりを行っていこうとする考え方を推進していくことは、すべての人にとって公平な環境づくり(発展途上、教育差別、女性差別をなくす)へとつながっていくことが期待される。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	9,078	12,748	4,493	3,461	3,797	3,545
	決算	8,357	11,876	2,827	2,989	2,928	
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	8,357	11,876	2,827	2,989	2,928	3,545
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)		114	114	149	103	113	165
人件費(人工分)(B)		31,600	37,900	32,900	28,080	22,200	21,080
人工	正規	3.6	4.1	3.9	2.8	2.2	2.2
	再任用(31h)	1.0	1.0		0.8		
	再任用(26h)					1.0	1.0
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.1
年間経費(予算又は決算+A+B)		40,071	49,890	35,876	31,172	25,241	24,790

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
小・中学校UD出前講座等受講率(%)		目標	40	40	40	40	45	45
		実績	31	34	37	39	39	
UD市民リーダー養成に伴う講座受講者数(人)		目標	20	20	20	20	20	20
		実績	32	25	21	25	29	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	07	02	03	01	000615000	01	UD・男女共同参画課	河合多恵子	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

○小中学校等におけるUD学習の支援
UD学習資料提供(小学4年生への冊子配付、中学生への電子書籍提供)、出前講座、施設見学、UD講師派遣、企業のUD出前講座等を行った。
○市民、事業者、大学と協働でUDを推進する事業
UD提案事業やUD絵本ワークショップなどで市民や大学等と連携を図った。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
指標の達成度 計画通り
・第3次UD計画・第1期推進計画に基づき事業を実施した。
・UD出前講座受講率は前年度と横ばいの39%であった。
・UD市民リーダー養成するための段階的な人材育成事業として、ユニバーサルマナーセミナーを実施し、受講者29名の全員がユニバーサルマナー検定3級を取得した。
・また、UD実践セミナーやUD学習支援ガイド養成講座を実施し、UDを実践する市民リーダーの育成を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)
・新型コロナウイルス感染症の5類移行が年度途中であったことから、年度初めの講座申込において影響があったものの、徐々に講座やセミナー等の参加状況が回復してきた。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
大項目 現状 小項目 現状 / 事業費 現状 人工 現状
・多様な人々と向き合うため、心のユニバーサルデザインの醸成とともに、UD推進を担うことができる人材育成のほか、バーチャル空間上でのUD体験の実施や多様性理解促進のための講演会の開催に取り組んだ。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)
大項目 現状 小項目 現状 / 事業費 現状 人工
・第3次浜松市ユニバーサルデザイン計画・第1期推進計画に基づき、デジタル技術を有効活用しながら、人づくり、仕組みづくり、まちづくりに取り組み、思いやりの心が結ぶ優しいまち・浜松の実現を図る。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

・UDIについての理解を深め、多様な人への配慮、心のUDの醸成及びUD推進を担う人材育成を目的とした様々なセミナーや研修会等の開催を行う。
○小中学校等におけるUD学習の支援
・UD学習資料提供(小4、中学生)、出前講座、施設見学、UD講師派遣、企業のUD出前講座等
・学校等へ派遣できる市民リーダーを養成するための人材育成事業
○市民、事業者、大学等と協働でUDを推進する事業
・UD提案事業、UD絵本ワークショップ、ピクトグラム選手権
○浜松市ユニバーサルデザイン審議会の開催
・ユニバーサルデザインの推進に関する重要事項を審議
○UD学習支援事業の再構築に向けた調査研究
・体験型に加え、デジタルを活用した学習教材の整備
○職員等UD研修
・UDの基本を理解し、UDの考え方を業務へ取り入れることなどを学ぶ研修の実施

事業シート

(事業名) 02 UD・男女共同参画デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

多様な方が窓口等で円滑なコミュニケーションをとることができるよう、ユニバーサルデザイン推進のための環境整備を図るとともに、デジタル技術を有効活用したユニバーサルデザイン教材の開発に取り組む。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2019		一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

		③保健	④教育	⑤ジェンダー				
事業とゴールの 関連性	外国人や高齢者、障がい者などコミュニケーションが難しい方が窓口等で円滑なコミュニケーションをとることができるよう、コミュニケーション支援することで、公平な環境づくりにつながっていくことが期待される。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			1,527	2,611	4,426	5,036
	決算			1,468	2,378	4,244	
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源			1,468	2,378	4,244	5,036
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				1,400	2,800	3,360	3,360
人工	正規			0.2	0.4	0.4	0.4
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)					0.2	0.2
年間経費(予算又は決算+A+B)				2,868	5,178	7,604	8,396

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
各区窓口での音声文字化アプリケーション の利用実績(件)		目標	20	25	30	30	15	15
		実績	28	24	12	12	10	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	07	02	03	01	000615000	02	UD・男女共同参画課	河合多恵子	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

○UD推進のための環境づくり

- ・外国人や高齢者、障がい者などコミュニケーションが難しい方が窓口等で円滑なコミュニケーションをとることができるよう、またイベント等で活用してもらえるようガイドラインを作成し、コミュニケーション支援ツールの紹介や操作体験の実施により、活用の周知促進に取り組み、ICTを活用したコミュニケーション支援を行う環境づくりに努めた。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
 指標の達成度

計画通り

- ・外国人や高齢者、障がい者などコミュニケーションの難しい方が、窓口等で必要な支援方法を選択できる環境整備を推進するため、遠隔多言語通訳、遠隔手話通訳のほか、タブレット端末を利用した音声文字化アプリケーション「UDトーク」を窓口に配置した。UDトークは、窓口利用のほか、会議や講演会等のイベントで合計33件の利用があった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
 大項目

現状

 小項目

現状

 /

 事業費

現状

 人 工

現状

- ・外国人や高齢者、障がい者などコミュニケーションが難しい方が窓口等で円滑なコミュニケーションをとることができるよう、ICTを活用したコミュニケーション支援を行う環境整備を図った。
- ・誰もがイベント等に参加できるようにするため、コミュニケーション支援ツールであるUDトークに関するガイドラインを策定し、職員に対して、支援ツールとガイドラインの紹介、操作体験を行うことで、周知を図った。
- ・UD啓発資料の電子化やUDの基本を学ぶ動画教材の制作に取り組んだ。
- ・2022年度に短期間の試験運用を行ったあいホールSNS相談について、一定のニーズが把握できたことから、2023年8月より本格導入した。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)
 大項目

改善

 小項目

ICT化

 /

 事業費

現状

 人 工

- ・窓口等での円滑なコミュニケーション支援としてUDトークの活用方法を周知し、広めていくことで利用促進を図る。
- ・庁内におけるイベント・講演会等でのUDトークの活用促進を図る。
- ・ICTを有効活用したUD学習支援メニューの調査研究を行う。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- ・外国人や高齢者、障がい者などコミュニケーションが難しい方が窓口等で円滑なコミュニケーションをとることができるよう、「UDトーク」利活用の周知、啓発を行う。
- ・イベントや講演会における「UDトーク」の活用を図るため、活用例の周知を行い、誰もがイベントや講演会に参加しやすい環境整備を図る。
- ・電子化したユニバーサルデザイン啓発資料の周知を図るとともに、デジタル技術を活用した新たなUD教材の研究を進める。
- ・あいホールで行うSNS相談のさらなる周知を図り、誰もが気軽に相談しやすい環境を整える。

事業シート

(事業名) 03 UD・男女共同参画運営経費(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	1,030	739	902	933	868	876
	決算	643	351	307	357	457	
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	643	351	307	357	457	876
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		6,300	6,300	6,300	5,600	7,560	7,560
人工	正規	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)					0.7	0.7
年間経費(予算又は決算+A+B)		6,943	6,651	6,607	5,957	8,017	8,436

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)



(1)事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)



(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

